

研究タイトル:

時代から読む夏目漱石の小説



氏名:	山口 比砂 / YAMAGUCHI Hisa	E-mail:	yamaguchihs@toyota-ct.ac.jp
職名:	准教授	学位:	修士(国際文化)
所属学会・協会:	日本近代文学会, 全国大学国語国文学会, 室生犀星学会		
キーワード:	夏目漱石, 明治, 大衆, 芸能, 哲学, 現象即実在		
技術相談 提供可能技術:	<ul style="list-style-type: none"> ・夏目漱石の小説読解を主とした一般向け文学講座の開設 ・文学理論によるテキスト読解方法, 文学環境論から文学を捉える視点の提示 ・時代背景(思想・および芸能状況の変遷)を踏まえた言説分析の情報提供 		

研究内容: 時代から読む夏目漱石の小説／少子高齢社会と文学的言説

【Ⅰ】時代から読む夏目漱石の小説

漱石の言説を時代状況との関連で捉え直すことを主眼とした、言葉と人間と状況の動的な関係性を読み解く研究。大衆との関わり、意識・無意識世界の描出、哲学アカデミズムの関わりなどを軸として、漱石研究における新しい提言を行っている。

【Ⅱ】少子高齢社会と文学的言説

高齢社会における介護問題、少子化問題、家族問題などが、各時代の文学的言説においてどのように物語化されているかを、近現代文学の領域内において様々な角度から検証している。

また、上記の研究成果を、学界内にとどまらず、分かりやすく一般読者に提示することを目的とした講演を、積極的に行っている。単なる鑑賞とは異なる文学の新しい読み方の普及を、研究活動の一環として重視している。

- 「夏目漱石から見た「衆マッス」— 明治四十年の雲右衛門人気を軸として」(『日本近代文学』平成 18.11)
浪花節が広く人心を掌握して行く時代背景を踏まえて漱石の創作活動を検証する。芸能と文学という隣接領域でありながら、見過ごされてきた両者の関係性に注目した論考。
- 「漱石とパスカル — 「無限」概念をめぐる考察」(『あいち国文』平成 19.7 のちに『国文学年次別論文集 近代Ⅱ』)
『夢十夜』と『パンセ』の「無限」概念を比較することで、現象即実在論などに近接する漱石と、護教論の立場に立つパスカルの思考方法の根本的な差異を解明した論考。
- 「泉鏡花『歌行燈』の時空間 — 明治四十年代の能楽界状況を踏まえて」(『く東海を読む』平成 21.6 所収)
漱石と同時代に活躍した泉鏡花の『歌行燈』を、明治三十年代の能楽や浪花節などの芸能状況の変遷と、思想的背景を踏まえて検証した論考。
- 『く介護小説』の風景 — 高齢社会と文学』(森話社 平成 20.11) 共著
文学は介護をどのように描いてきたか、日本近現代文学に内在する高齢者介護の問題について様々な角度から検証を試み、「老い」を否定的にのみ捉える心性からの脱却と、高齢社会の新たな可能性を探っている。

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	